

## 2015 年度（平成 27 年度）事業計画

はじめに

1. 2015 年は、戦後 70 年を迎える。協会は創立以来、戦争への反省と世界の平和と繁栄に貢献するため、長期に渡り友好事業を促進してきた。

昨年は、11 月に日中首脳会談が実現し、両国関係の改善の第 1 歩を踏み出すことが出来たことは大変喜ばしいことであった。今年は一層の関係改善が進む 1 年になるよう尽力することが大切である。

2. また、当協会は創立 65 周年を迎える。記念祝賀会を 6 月の定時総会に合わせて開催する。

さらに協会の力量を高めるために、あらためて会員の拡大や財政の確立をはじめとする組織の整備を図る。また、会報「日本と中国」の充実を出来得る努力をしていかななくてはならないと考える。

日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の構築を図る事業を基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力が必要である。

2015 年度（平成 27 年度）の事業計画は以下の通りである。

### 1. 交流事業の促進

- (1) 南京城壁保存修復協力事業 20 周年記念事業

5 月 14 日・15 日に中国南京において、江蘇省人民対外友好協会並びに中日友好協会と共に 20 周年を祝う行事を行う。

- (2) 各種代表団等の派遣と受け入れ

①協会代表団をはじめ経済、女性及び青年等の訪中代表団の編成・派遣

②中国関係機関からの代表団や訪日団の受け入れ

- (3) 青少年交流の実施

①日中友好大学生訪中団（1 団 100 名程度）の派遣

2 団派遣する。受入は中日友好協会。

②第 5 回宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣

主催：中国宋慶齡基金会

英語を共通語として、世界 30 か国余りの高校生と交流。

③JENESYS2.0（仮称）の取り組み。

- (4) 専門分野別の日中交流の促進

### 2. 中国政府奨学金生（以下「公費留学生」という。）の募集・選考・派遣

- (1) 2015 年 9 月に留学する公費留学生の派遣

7 月下旬 中国政府より決定通知。

8 月上旬 研修会の開催。

9 月上旬 留学。

- (2) 2016 年 9 月に留学する公費留学生の募集・選考

1 月 応募受付。

2 月中旬 書類選考。

3月上旬 面接試験の実施。

4月中旬 中国政府に推薦。

### 3. 中国語普及事業

#### (1) 第33回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会

2016年1月10日東京で開催。

出場者エントリー11月上旬まで。テープ審査11月下旬。

都道府県日中友好協会(以下「県協会」という)は、10月下旬までに予選の大会を開く。

#### (2) 第42回日中友好中国語夏期スクーリング

7月下旬から9月初めまでに開く。

### 4. 友好都市間の交流の促進

友好都市の締結及び友好都市間の交流の支援。とりわけ青少年交流と文化交流を促進する。

### 5. 中国の環境・福祉等の問題改善への支援と緑化事業について

中国が抱えている大気汚染・汚水等の環境や高齢化社会に関する医療・介護等の問題の改善につながる交流事業の取り組み。

緑化事業は、中国の関係機関と意見交換を行い、今後の対応を検討。

### 6. 会報「日本と中国」の発行事業

タブロイド版12ページ。毎月1回(1日付)年間の12回発行。

各地で実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の紹介を通じて日中の相互理解に貢献。

### 7. 出版事業

#### (1) 友好手帳2016年版の製作・発行

#### (2) 雑誌「人民中国」の販売

#### (3) 平山郁夫作品カレンダー2016年版の販売

### 8. 丹羽宇一郎奨学金

前中国大使丹羽宇一郎氏の寄付を浄財に在日中国人留学生を支援する奨学金生の募集、選考を行い、奨学金を支給する。

10月 応募受付。

11月 書類審査。

3月上旬 選考試験の実施。

### 9. 展覧会等の開催

#### (1) 中国を紹介する写真展の開催

人民中国雑誌社と共催し、中国の発展と変化を紹介する写真展を開催する。

#### (2) 何香凝芸術名作展の開催

中国深圳・何香凝美術館所蔵作品展

主催：亜細亜文化芸術交流基金他

期間：5月25日～30日 会場：東京都美術館

1 0 . 中国知識検定の実施に向けての研究・準備

1 1 . その他事業

- (1) 満蒙開拓平和記念館への支援活動
- (2) 2016 年日中友好新年会の開催  
1 月下旬東京で開催。
- (3) 講演会や展示会等の開催
- (4) 日中友好 7 団体等関係団体との提携・協力
- (5) 第 1 回日本伝統工芸品展 in 北京への協力  
2015 年 10 月 16 日～20 日 北京市懋隆文化産業創意園

1 2 . 県協会の活性化

- (1) 協会の会員である県協会は 42 組織ある。未加入の組織には加入の働きかけを行い、組織がない県については県協会の再建に取り組む。47 の都道府県すべてに組織が存在し、国民の期待に添えるよう努める。また、すべての県協会がホームページを持つことができるよう努める。
- (2) 東西 2 ブロックに分けて協会実務者会議の開催
- (3) 日中友好セミナーの開催

以 上

## 定 款

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 日本からの訪中団の派遣と幹旋及び中国からの訪日団の受け入れと幹旋
- (2) 日本からの留学生の派遣と幹旋
- (3) 日本における中国語の普及及び中国における日本語の普及のための支援
- (4) 日中両国の友好都市間の交流の推進
- (5) 中国における環境の保全、保護及び環境に関する協力
- (6) 文化、芸術、教育、科学技術及びスポーツ等の公演、展示及び講演等の開催
- (7) 中国の情報並びに日中友好交流に関する会報等の発行
- (8) 出版事業
- (9) 中国知識検定の実施
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 交流事業の促進

第4条 第1号

- (1) 南京城壁修復保存支援事業 20 周年記念事業
- (2) 各種代表団等の派遣と受け入れ
- (3) 青少年交流の実施。

①日中友好大学生訪中団 (1 団 100 名程度) の派遣

②第 5 回宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣

③JENESYS2.0 の取り組み。

### 2. 中国政府奨学金生 (以下「公費留学生」とする。) の募集・選考

第4条 第2号

### 3. 中国語普及事業

第4条 第3号

### 4. 友好都市間交流の促進

第4条 第4号

### 5. 緑化事業について

第4条 第5号

### 6. 会報「日本と中国」の発行事業

第4条 第7号

### 7. 出版事業

第4条 第8号

### 8. 丹羽宇一郎奨学金

第4条 第10号

### 9. 中国知識検定の実施に向けての研究・準備。

第4条 第9号

### 10. その他事業

- (1) 満蒙開拓平和記念館への支援活動

第4条 第10号

- (2) 中国を紹介する写真展の開催。

第4条 第6号

- (3) 2016 年日中友好新年会の開催。

第4条 第10号

- (4) 講演会や展示会等の開催。

第4条 第6号

- (5) 日中友好 7 団体等関係団体との提携・協力。

第4条 第10号

### 11. 県協会の活性化

第4条 第10号

- (1) 協会の会員である県協会は 42 組織ある。未加入の組織に加入の働きかけを行い、未組織の県については県協会の再建に取り組む。47 の都道府県に県協会が存在し、国民の期待に添うよう努める。また、すべての県協会がホームページとメールアドレスを持つことができるよう努める。

- (2) 東西 2 ブロックに分けて協会実務者会議の開催。

- (3) 日中友好セミナーの開催



2014年度（平成26年度）事業計画	2015年度（平成27年度）事業計画（草案）
<p>はじめに</p> <p>1. 2014年は、中華人民共和国が建国65周年を迎える。世界第2位の経済力を備え、世界中から日々注視されている中国に対する日本国民感情は、残念ながら改善の兆候は見られないが、日中両国関係は重要であることについては一致している。</p> <p>2. 2012年9月の「島の問題」以来、困難な状況は継続している。本年は、2年おきに開催している日中友好交流会議の日本開催の年であり、9月に大阪で実施する。会議を通じて、困難な状況の改善と民間の交流が促進されることを望む。</p> <p>3. 協会は、昨年に引き続き、協会の力量を高めるために、会員の拡大をはじめ、組織の整備をはかり、財政の確立を目ざし、会報「日本と中国」の充実を出来得る努力をしていかななくてはならないと考える。</p> <p>日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の改善を図る事業を基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力が必要である。</p> <p>2014年度（平成26年度）の事業計画は以下の通りである。</p>	<p>はじめに</p> <p>1. 2015年は、戦後70年目を迎える。協会は創立以来、戦争への反省と平和と繁栄に貢献するため長期の渡り、友好事業を促進してきた。</p> <p>昨年は、11月に3年ぶりに日中首脳会談が実現し、両国関係の改善の第1歩を踏み出すことが出来たことは大変喜ばしいことである。一層の関係改善の1年になるよう尽力することが大切である。</p> <p>2. また、当協会は創立65周年を迎える。記念祝賀会を6月の定時総会に合わせて開催する。</p> <p>あらためて、協会の力量を高めるために、会員の拡大をはじめ、組織の整備をはかり、財政の確立を目ざし、会報「日本と中国」の充実を出来得る努力をしていかななくてはならないと考える。</p> <p>そして、日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の改善を図る事業を基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力が必要である。諸先輩の築いた</p> <p>2015年度（平成27年度）の事業計画は以下の通りである。</p>
<p>1. 交流事業の促進</p> <p>(1) 第14回日中友好交流会議</p> <p>当協会と中日友好協会の共催、9月に大阪で開催。</p> <p>テーマ「民間交流の新たな高まりを！」</p> <p>中日友好協会代表団の招への他、中国各地の人民対外友好協会の幹部を招へいし、日本の各都道府県日中友好協会（以下「県</p>	<p>1. 交流事業の促進</p> <p>(1) 南京城壁修復保存支援事業20周年記念事業</p> <p>5月14日・15日、中国南京において、江蘇省人民対外友好協会並びに中日友好協会と共に20周年を祝う事業を行う。</p> <p>(2) 各種代表団等の派遣と受け入れ</p> <p>①協会代表団をはじめ経済、女性及び青年等の代表団の派遣。</p>

<p>協会」という)の代表と交流。</p> <p>(2) 各種代表団等の派遣と受け入れ</p> <p>①協会代表団をはじめ経済、女性及び青年等の代表団の派遣。</p> <p>②訪中団の編成・派遣</p> <p>③中国関係機関からの代表団や訪日団の受け入れ</p> <p>(3) 青少年交流の実施。</p> <p>①JENESYS2.0の取り組み。</p> <p>②第5回宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣 主催：中国宋慶齡基金会 英語を共通語として、世界30か国あまりの高校生と交流。</p> <p>(4) 3千人交流30周年を記念しての訪中事業 1984年秋の実施から30年を迎え、記念事業として訪中団の派遣を実施。</p> <p>(5) 囲碁交流や卓球交流などの促進。</p> <p>①中国から棋士3～4名を招き、数都市において訪問囲碁交流を行う。</p> <p>②シニアの卓球愛好家の訪中交流。</p>	<p>②訪中団の編成・派遣</p> <p>③中国関係機関からの代表団や訪日団の受け入れ</p> <p>(3) 青少年交流の実施。</p> <p>①日中友好大学生訪中団(1団100名程度)の派遣 2団派遣する。受入は中日友好協会。</p> <p>②第5回宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣 主催：中国宋慶齡基金会 英語を共通語として、世界30か国あまりの高校生と交流。</p> <p>③JENESYS2.0の取り組み。</p> <p>(4) 専門分野別の交流の促進</p>
<p>2. 中国政府奨学金生(以下「公費留学生」とする。)の募集・選考</p> <p>(1) 2014年9月に留学する公費留学生の派遣。</p> <p>7月下旬 中国政府より決定通知。</p> <p>8月上旬 研修会の開催。</p> <p>9月上旬 留学。</p> <p>(2) 2015年9月に留学する公費留学生の募集・選考。</p> <p>1月 応募受付。</p> <p>3月上旬 選考試験の実施。</p> <p>4月中旬 中国政府に推薦。</p>	<p>2. 中国政府奨学金生(以下「公費留学生」とする。)の募集・選考</p> <p>(1) 2015年9月に留学する公費留学生の派遣。</p> <p>7月下旬 中国政府より決定通知。</p> <p>8月上旬 研修会の開催。</p> <p>9月上旬 留学。</p> <p>(2) 2016年9月に留学する公費留学生の募集・選考。</p> <p>1月 応募受付。</p> <p>3月上旬 選考試験の実施。</p> <p>4月中旬 中国政府に推薦。</p>

<p>3. 中国語普及事業</p> <p>(1) 第 32 回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会。 2015 年 1 月 11 日東京で開催。 出場者エントリー11月上旬、テープ審査 11 月下旬。 県協会は、10 月下旬までに予選の大会を開く。</p> <p>(2) 第 41 回日中友好中国語夏期スクーリング。 7 月下旬から 9 月初めまでに開く。</p>	<p>3. 中国語普及事業</p> <p>(1) 第 33 回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会。 2016 年 1 月 10 日東京で開催。 出場者エントリー11月上旬、テープ審査 11 月下旬。 県協会は、10 月下旬までに予選の大会を開く。</p> <p>(2) 第 42 回日中友好中国語夏期スクーリング。 7 月下旬から 9 月初めまでに開く。</p>
<p>4. 友好都市間交流の促進</p> <p>(公財)日本卓球協会と提携して友好都市間のシニア卓球交歓大会（仮称）の開催の推進。</p>	<p>4. 友好都市間交流の促進</p> <p>友好都市の締結及び友好都市間の交流の支援。とりわけ青少年交流と文化交流を促進する。</p>
<p>5. 緑化事業について</p> <p>中国の関係機関と意見交換を行い今後の対応を検討。</p>	<p>5. 環境改善への支援と緑化事業について</p> <p>中国のかかえている汚染・汚水等の環境の改善、高齢化社会の関する医療・介護等の交流事業の取り組み。</p> <p>緑化事業は、中国の関係機関と意見交換を行い今後の対応を検討。</p>
<p>6. 会報「日本と中国」の発行事業</p> <p>毎月 1 回(1 日付)年間の 1 2 回発行。 タブロイド版 1 2 ページ。</p>	<p>6. 会報「日本と中国」の発行事業</p> <p>タブロイド版 1 2 ページ。毎月 1 回(1 日付)年間の 1 2 回発行。 日本各地に実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の消化を通じて相互理解に貢献。</p>
<p>7. 出版事業</p> <p>(1) 友好手帳 2015 年版の製作・発行。 (2) 雑誌「人民中国」の販売。</p>	<p>7. 出版事業</p> <p>(1) 友好手帳 2016 年版の製作・発行。 (2) 雑誌「人民中国」の販売。</p>



(3) 平山郁夫作品カレンダー2015 の販売。	(3) 平山郁夫作品カレンダー2016 の販売。
	<p>8. 丹羽宇一郎奨学金  前中国大使丹羽宇一郎氏の寄付を浄財に在日中国人留学生を支援する奨学金生の募集、選考、奨学金の支給を行う。</p> <p>10月 応募受付。  11月 書類審査。  3月上旬 選考試験の実施。</p>
	<p>9. 中国を紹介する写真展の開催。  人民中国雑誌社と提携し、中国の発展と変化を紹介する写真の提供受け、前項での写真展を開催する。</p>
8. 中国知識検定の実施に向けての研究・準備。	10. 中国知識検定の実施に向けての研究・準備。
<p>9. その他事業</p> <p>(1) 満蒙開拓平和記念館への支援活動  (2) 「漢字の由来」(仮称)展の開催。  漢字の起源と発展・進化を知る展示会。  (3) 2015年日中友好新年会の開催。  1月下旬東京で開催。  (4) 講演会や展示会等の開催。  (5) 日中友好7団体等関係団体との提携・協力。</p>	<p>11. その他事業</p> <p>(1) 満蒙開拓平和記念館への支援活動  (2) 2016年日中友好新年会の開催。  1月下旬東京で開催。  (3) 講演会や展示会等の開催  (4) 日中友好7団体等関係団体との提携・協力。</p>
<p>10. 県協会の活性化  協会の会員である県協会は42組織ある。未加入の組織に加入の働きかけを行い、未組織の県については県協会の再建に取り組む。</p>	<p>12. 県協会の活性化  (1) 協会の会員である県協会は42組織ある。未加入の組織に加入の働きかけを行い、未組織の県については県協会の再建に取り組む。</p>

<p>47 の都道府県に県協会が存在し、国民の期待に添うよう努める。 また、すべての県協会がホームページとメールアドレスを持つことができるよう努める。</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>	<p>47 の都道府県に県協会が存在し、国民の期待に添うよう努める。また、すべての県協会がホームページとメールアドレスを持つことができるよう努める。</p> <p>(2) 東西 2 ブロックに分けて協会実務者会議の開催。 (3) 日中友好セミナーの開催</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>